

当院集中治療室で治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「Perm Score 日本語版の信頼性・妥当性の検討」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学病院 総合リハビリテーション部 千田益生

1) 研究の背景および目的

集中治療室に入室された患者さんは著しく身体機能が低下すると言われています。身体機能を評価することは、今後の治療内容や目標を決めるためにも有用となります。本研究の目的は海外で使用されている身体機能を評価するためのスコアを日本語訳したものが確実に身体機能を評価することができるか、評価者が変わっても評価に差が生じないか、その後の患者さんの状態に関連しているかを調査するための研究です。

2) 研究対象者

倫理委員会承認後～2023年6月の間に岡山大学病院リハビリテーション部において集中治療室での治療を受けられた方69名を研究対象とします。

3) 研究期間

倫理委員会承認後～2023年12月28日

4) 研究方法

当院において集中治療室での治療を3日以上受けられた方で、研究者が診療情報をもとにICU退室時の身体機能のデータを選び、評価者2名の一致率、現在一般的に使用されているスコアとの一致率を分析し、その後の患者さんの自宅退院などの転帰との関連について調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

基本情報

- ・ 年齢、性別、身長、体重、診断名、既往歴、重症度スコア(SOFAスコア)

身体機能

- ・ 集中治療室での離床の進行度(IMS)、筋力(MRCスコア)、Perm ICU mobility score

退院時のADL

- ・ Barthel index

転帰

- ・ 退院先

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後1年間、岡山大学病院リハビリテーション部内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 総合リハビリテーション部

氏名：片山 翔

電話：086-235-7752（平日：9時00分～17時00分）